※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	「ロジック現代文　私大過去問題演習　〈マーク＋記述〉対策編」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文の問題演習を通して、文章読解に必要な国語力を身につけ、「自力で読み、問題を解く力」を養いましょう。
・小テストのための事前学習や授業内容の予習復習には、自ら進んで取り組んでください。受け身ではなく、意欲的・積極的に授業に取り組む姿勢が大切です。
・定期考査には、学習計画を立てて臨んでください。課題や提出物などの期限は必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

・文章読解や記述に必要な語彙を身につける。
　言葉の特徴や使い方、文法、慣用句、漢字などについての知識および技能を身につける。
・文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられるようにする。
　問題の意図に応じた適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめ、深められるようにする。
・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨く。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 ・言葉の特徴や使い方、文法、慣用句、漢字などについての知識および技能を身につけている。	・文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 ・問題の意図に応じた適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめ、深められる。	・文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	評論読解の基礎 1、主張の押さえ方 2、解答の仕方 3、接続詞 4、指示語 5、具体例 6、傍線部処理 随筆読解の基礎 1、主張の押さえ方 2、比喩表現 3, 具体例 4、傍線部処理 評論・随筆演習 1、美 2、政治 3、建築 4、コミュニケーション	a:文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]:文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c:文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 小テスト
二学期	評論・随筆演習 5、外国語 6、歴史 7、文学 8、比較文化 9、科学 10、都市生活 11、哲学 12、経済 13、メディア 14、政治 15、近代	a:文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]:文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c:文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 小テスト
三学期	評論・随筆演習 16、社会 17、情報技術 18、家族 19、言葉 20、文学	a:文章読解や記述に必要な語彙を身につけている。 b[読]:文章を的確に読み取り、その内容に関する問いに対して適切に答えられる。 c:文章を理解し言葉で表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重する姿勢を身につけ、言語感覚を磨いている。	定期考査	定期考査	ワーク提出 課題提出 小テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間